

令和5年度
喜須来小だより
夏休み号
まごころの教育推進校

まごころ

《校訓》
ただしく・やさしく・
たくましく
《問い合わせ》
TEL: 0894-36-0303
FAX: 0894-36-0189



喜須来小学校の大先輩

生徒指導主事 菊池 之成

喜須来小学校の卒業生に野本周成さんという方がおられるのをご存じでしょうか。野本周成さんは、今も喜須来地区在住の28歳で、愛媛陸上連盟に所属し、110mハードルという種目に自身の競技力向上を目指して、日々練習し、他の選手や記録と向き合いながら頑張っています。早稲田大学時代のユニバーシアード（於台湾）での5位入賞や2019年の茨城国体優勝など、輝かしい結果を残しています。そんな野本周成さんは、今年度になっても、その歩みを止めようとしていません。自分の力を伸ばし、更なる高みを目指して取り組んでいます。6月4日に行われた日本選手権の110mハードル決勝では、惜しくも途中棄権となってしまいましたが、日本の一等賞を決めるレースに進めるだけでもすごいことです。

そんな野本周成さんのニュースが、先日、私のスマートフォンに飛び込んできました。日本グランプリシリーズの布施スプリントが6月25日に鳥取県のヤマタスポーツパーク陸上競技場で行われ、そこで、見事、野本周成さんが、1位でゴールを駆け抜けたのです。記録は13秒28！この記録は、日本歴代5位に当たる好記録で、日本選手権決勝でゴールできていれば、準優勝できた記録です。しかも、今年度、8月に開催される、ブタベスト（ハンガリー）世界陸上の参加標準記録に達しているのです。残念ながら、即世界陸上出場の決定は決まらなかったのですが、世界陸上へ出場するのに、十分な能力があることを証明することができました。今後の他選手のレース次第では、110mハードルの3枠の最後の1枠に入る可能性もあります。

さて、野本周成さんは、ふだん、どのような生活をしているのでしょうか。最近、MLBで活躍している大谷翔平選手の生活についてのニュースも数多く目にするのですが、一流のアスリートのように一流の目標に向かって頑張っている人は、生活も節制し、全ての行動が、目標を達成するために向かっているはずです。そのような生活を子どもに要求することはしませんが、目標を持つということは大切です。それは、スポーツに限らず、学習や文化的な活動でもかまいません。「人は心（目的）を持つと行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」という（元ニューヨークヤンキースの）松井秀喜選手が大切にしている言葉にあるように、目的に向かって努力する日々を過ごすと、未来が開けてくるはずです。

もうすぐ夏休みです。子ども達は、どのような夏休みを過ごすのでしょうか。楽しく、充実した、そして、実りある夏休みになることを祈っています。そして、少しだけ、自分の目標の達成のために、行動を起こしてみてもいいのかなと思っています。